



# 里山に伝え育む伝統



子どもたちに神楽の楽しさを知ってほしいですね。

## 里宮神楽 Satomiyakagura

次世代へ伝えたい、横瀬が誇る伝統芸能です。

今から400年以上前、文禄5年に始まった武甲山御嶽神社の太々神楽は年2回、根古屋里宮の神楽殿でお披露目しています。横瀬町を代表する伝統芸能である神楽を次世代に伝えるため、後継者の育成にも努めています。



神楽長 守屋宏さん



interview 神楽師 小泉昇一さん



interview 会長 町田豊さん

10月の「よこぜまつり」でもお披露目しています。

## 芦ヶ久保獅子舞 Ashigakuboshishimai

伝統の灯を絶やさず、後継者育成にも取り組んでいます。

江戸時代から伝わる芦ヶ久保獅子舞は、毎年8月の白髪神社例大祭に奉納しています。私たち保存会をはじめ獅子舞世話人などの協力により月1回、地区の小中学生を対象に練習も行っています。伝統の灯を絶やすことなく、伝承していきたいですね。

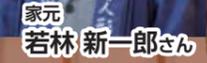


interview 舞手 町田勝飛さん



## 横瀬人形芝居 Yokozeningyoshibai

江戸時代に人気を博した芝居、時代を越えて上演しています。



家元 若林新一郎さん

安政年間に伝わったとされる横瀬人形芝居は、5月中旬と10月の「よこぜまつり」で上演しています。私はその三味線方を務めており、弾き語りの指導もしています。古き良き形を残すと同時に、現代人に芝居の面白さを知ってほしいですね。

interview 三味線演奏者 佐野淳子さん

人形1体を1人で操る技と廻り舞台は必見です。



勅使河原 孝夫さん 若林 忠弘さん 笠原 正樹さん



## 秩父屋台囃子保存会 Chichibuyatabayashihozonkai

古くから伝承され、祭礼などで演奏されてきた祭り囃子。小気味好い太鼓のリズムがまつりを盛り上げます。

横瀬町には、4団体の秩父屋台囃子保存会があり、秩父屋台囃子を次の世代に伝承すべく、地域のまつりをはじめ町が主催するイベント出演、老人ホームや各施設の慰問活動を行っています。



## 宇根の春祭り Unenoharumatsuri

里山に春を告げる、宇根の春祭り。地元の人々から大切に守り継がれてきました。

例年4月の第1日曜日に行われるこのまつりは、天王様と呼ばれ親しまれる宇根八阪神社の伝統的な例大祭。町指定有形民俗文化財である2台の笠鉦が、秩父屋台囃子の調べにのせて曳行され、夜には笠鉦の提灯に灯がともり、幻想的な雰囲気になります。